

WAMは福祉と医療の民間活動を応援します

令和元年 10月3日

独立行政法人福祉医療機構

経営サポートセンター長 岐部 宏幸

経営サポートセンター リサーチグループ

グループリーダー 吉崎 奈美

担当 小寺・橘・秦 (電話) 03-3438-9932

(FAX) 03-3438-0371

## 病院経営動向調査 (2019年9月) の結果について

独立行政法人福祉医療機構では、今後の病院経営や医療政策の適切な運営に寄与するため、病院経営における現場の声・実感や定期的な経営動向の変化を調査する仕組みとして、2019年から病院経営動向調査を四半期毎(3月、6月、9月、12月)に実施しています。今回は2019年9月に実施した本調査の結果についてご報告します。詳細はホームページ(<https://www.wam.go.jp/hp/hp-survey/>)に掲載しております。

### 1. 調査の概要

- 対象：病院(375施設)を運営する法人276法人(うち、医療法人229法人)\*法人調査対象は医療法人のみ
- 調査事項：病院および医療法人の収益・費用・利益、資金繰り、従事者数等に関する現在の状況と3ヶ月後の先行き予測
- 回答数：病院：341 医療法人：198
- 有効回答数：病院：341 医療法人：198
- 有効回答率：病院：90.9% 医療法人：86.5%
- 実施期間：2019年9月2日(月)～2019年9月20日(金)
- 実施方法：Web上で実施
- 集計方法：DI(景気変動を判断するための指標。各項目の第1選択肢の回答割合から第3選択肢の回答割合を差し引いて算出)に加工・集計して公表

### 2. 調査の結果

#### 【病院の動向】

- 医業収益のDIは、一般病院が27、療養型病院が15、精神科病院は△18となった
- 医業費用のDIは、一般病院が49、療養型病院が28、精神科病院は38となった
- 医業利益のDIは、一般病院が1、療養型病院が△5、精神科病院は△41となった
- 医業収支(黒字・赤字)のDIは、一般病院が12、療養型病院が44、精神科病院は20となった
- 資金繰りのDIは、一般病院が△8、療養型病院が6、精神科病院は△9となった
- 従業員数のDIは、一般病院が△19、療養型病院が△20、精神科病院は△27となった
- 医師の確保のDIは、一般病院が△57、療養型病院が△50、精神科病院は△70となった
- 看護師の確保のDIは、一般病院が△43、療養型病院が△44、精神科病院は△39となった
- 看護補助者の確保のDIは、一般病院が△79、療養型病院が△77、精神科病院は△73となった
- コメディカルの確保のDIは、一般病院が△32、療養型病院が△32、精神科病院は△39となった
- 人件費の増減のDIは、一般病院が64、療養型病院が61、精神科病院は50となった
- 残業時間の増減のDIは、一般病院が6、療養型病院が△4、精神科病院は△9となった
- 病床利用率のDIは、一般病院が△3、療養型病院が△9、精神科病院は△23となった

(補足)

- 一般病院および療養型病院は医療収益DIがプラスで、増収したとの回答が多かったが、精神科病院のDIはマイナスで前回調査よりも低下していた
- 医業利益DIは前回調査ではいずれもマイナスであったが、一般病院がプラスに転じていた
- 従業員の雇用(確保)状況は引き続き厳しく、従業員数のDIはいずれも前回調査より低下、看護補助者の確保のDIがもっとも低い状況が続いている

#### 【医療法人の動向】

- 医業収益のDIは前回調査より5%ポイント低下の13、医業費用のDIは前回調査より5%ポイント低下の51、医業利益のDIは前回調査より3%ポイント上昇の△12となった
- 従業員数のDIは△29、従業員の確保のDIは△65となった

以上